

## 第1学年国語科学習指導案

児童 1年1組 男15名 女12名 計27名

指導者 室岡純子

身近な事柄について、話題に沿って聞き合う力を育てるための学習活動の工夫

1 単元名 よくきいて、あてよう (学習材名「わたしは、なんでしょう」(光村1年下))

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

児童はこれまでに「好きなもの、おしえて」の学習を通して、話の大事なことを落とさないようにしながら聞くことの学習をしてきた。また、「みんなに知らせたいこと」の学習では、話題に沿った質問をして聞き合う学習をした。これらの学習を通して、大事なことを落とさないように聞く力や、質問をする力がついてきている。

しかし、実際の対話の中では、質問しようとはしているが質問の内容が話題に沿っていない児童も見られ、分からないことや知りたいことを聞き返す力がしっかりと身に付いているとはいえない。

このことから、身近な事柄について、相手の話の大事なことを落とさずに聞き、話題に沿ってもっと知りたいことを質問しながら聞き合う力をつけていくことが大切であると考えられる。

#### (2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと」である。この力を培うためには、「大事なことを落とさずに聞く」「聞き取ったことを繰り返して確かめる」「話題に沿って知りたいことを質問する」力を育てていく必要がある。本単元では、「相手の話の大事なこと(特徴)を落とさずに聞き、もっと知りたいこと(特徴)を質問すること」が指導の中心である。

このような力を育てるために、学習材として「わたしは、なんでしょう」を用いる。身近にあるものや自分が好きなものをクイズにすることは、1年生の児童にとっては興味や意欲が高まる題材である。この学習材においては、話し手と聞き手の立場に交互に立ちながらクイズを出してそれに答えるという学習を行う。児童は、友達の好きな食べ物についてのクイズの答えを見つけようとして、味や色など相手の好きな食べ物の特徴を聞き取ろうとするとともに、まだ分かっていない特徴を質問しようとするであろう。

この学習材を通して、児童は、必要感をもって聞き合い、話題に沿って質問する力を高めていくことができるであろう。また、その聞き合いの中で、お互いに心を通わせながら進めていくことができるであろう。

#### (3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

みとおす段階では、教師が児童にクイズを出すことによって、「わたしは、なんでしょうクイズ」に興味をもたせたい。また、「自分の好きな食べ物」についてのクイズを作り、お互いにクイズを出し合いながら聞き合う学習であることを知らせたい。

ふかめる段階では、まず、自分の好きな食べ物の絵をカードに描かせ、色、味、大きさ、形などの特徴を捉えさせたい。そして、その特徴の中からクイズを作っていくという問題の作り方を理解させたい。また、相手の話から特徴を聞き取り、まだ分かっていない特徴を質問していけば、友達が好きな食べ物も分かってくることに気付かせ、対話に向かわせたい。対話は2回行い、話題に沿って聞き合う力を身に付けさせたい。

まとめる段階では、たくさんの友達と「わたしは、なんでしょうクイズ」をすることで聞き合う力の定着を図るとともに、対話を通して交流することの楽しさを味わわせたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

・「わたしは、なんでしょうクイズ」に興味をもち、進んで質問をしたり、それに答えたりしようとする。

#### (2) 話すこと・聞くこと

・分からないことや詳しく知りたいことを質問したり、それに答えたりすることができる。

#### (3) 言語についての知識・理解・技能

・相手に分かるように、はっきりと話すことができる。

### 4 単元についての評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①「わたしは、なんでしょうクイズ」に興味をもち、進んで質問をしたり答えたりしようとしている。	①友達の問題を落とさずに聞き、知りたいことを質問したり、それに答えたりしている。	①はっきりした発音で、相手に伝わるように話している。

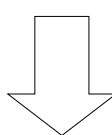
### 5 学習指導計画（5時間扱い）

#### 【関連する前の単元】「みんなにしらせたいこと2」

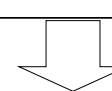
- 友達ががんばっていることを聞き、詳しく知りたいことを質問する。
- 話したいことを決め、3文程度で最後まではっきりと話す。

#### 【スピーチ学習】「冬休みの作品を紹介しよう」

- がんばったところややってみての感想を話す。
- 詳しく知りたいことを質問したり、感想を話したりする。



	学習課題	学習活動と時間	評価規準（方法）
みとおす	○「わたしは、なんでしょうクイズ」のやりかたをしよう。	・教師が出すクイズに答え、クイズの仕方を理解する。 ・クイズをして聞き合う学習を知ることを知る。(1)	アー①「わたしは、なんでしょうクイズ」やこれからの学習に、興味をもっている。(発言)
ふかめる	○もんだいをつくろう。	・問題の作り方を知り、問題を作る。(1)	アー①好きな食べ物の特徴について考え、進んで問題を作ろうとしている。(観察)
	○もんだいを出すれんしゅうをしよう。	・ゆっくり、はっきりと問題を出す練習をする。(1)	ウー①はっきりした発音で、相手に伝わるように話そうとしている。(観察)
まとめる	○「わたしは、なんでしょうクイズ」をしよう。	・問題から大事なこと（特徴）を聞き取り、質問をしたり質問に答えたりする。(1) 本時	イー①友達の好きな食べ物を知るために、質問しながら聞き合っている。(発言・観察・学習シート)
	○たくさんのともだちと「わたしは、なんでしょうクイズ」をしよう。	・たくさんの友達と「わたしは、なんでしょうクイズ」をし、質問をしながら聞き合う。(1)	イー①たくさんの友達とクイズをし、質問をしながら聞き合っている。(発言・観察・学習シート)



#### 【生かす単元】「おはなしを たのしもう」

- ・紹介するお話がよく分かるように、順序を考えて話す。
- ・友達が紹介するお話について、詳しく知りたいことを聞き返したり、感想を話したりする。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

友達の好きな食べ物を知るために、知りたいことを質問したりそれに答えたりしながら聞き合うことができる。

### (2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	鞆 (分)	◇ 学習内容	教師のかかわり ( ☆ 評価 )
みとおす	1 前時の学習を想起する。 2 本時のめあてを確認する。 「すきなたべもの」をききあおう。	4	・よい聞き方、話し方を確かめる。	・お互いにクイズを出し合うことを確かめる。 ・大事なことを落とさないで聞き、しっかりとしたことばで伝えることを確かめる。
ふかめる	3 教師の対話を聞く。 ○ 先生は、どのような聞き方をするでしょう。 4 「わたしは、为什么呢クイズ」をし、友達と好きな食べ物を聞き合う。 (1) 1回目の対話を行う。 (2) 対話の様子を知らせる。 ○ 友達の好きな食べ物を知るために、どんな質問をしましたか。 (3) 2回目の対話を行う。	8  28	◇ どのような聞き方をすればよいのかを知ること。  クイズの問題を聞き取り、繰り返す。 ・それは、果物で、細長い形なんです。ね。 まだ分かっていない特徴を質問する。 ・それは、どんな色ですか。 ・それは、どんな味ですか。  ◇ 質問をしたりそれに答えたりしながら好きな食べ物を聞き合うこと。  ◇ どんな質問をしたのか聞き合うこと。  ◇ 質問をしたりそれに答えたりしながら好きな食べ物を聞き合うこと。	・味、色、大きさ、形、においなど相手が話した特徴を聞き取って繰り返すこと、そして、まだ分かっていない特徴を質問していけば、友達の好きな食べ物が明らかになってくることを理解させる。  イー①友達の好きな食べ物を知るために、質問しながら聞き合っている。 (発言・観察・学習シート [努力を要する児童への手立て まだ分かっていない特徴を質問するよう促す。])  ・学習シートで話し方・聞き方をふり返らせる。
まとめる	5 学習のまとめをし、次時の学習内容を知る。	5	・好きな食べ物を聞き合った感想を聞き、学習のまとめをすること。	・質問したことで友達の好きな食べ物を知ることができたことを確かめ、次時への意欲付けをする。